

患者さんへ ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 非弁膜症性心房細動患者に対する直接経口抗凝固薬(DOACs)の有効性・安全性の評価と有害事象予測因子の探索』

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院薬剤部では、直接経口抗凝固薬(DOACs)を使用している非弁膜症性心房細動患者のデータを調査することにより、その有効性と安全性を評価するとともに、有害事象発現に影響をおよぼす背景因子を明らかにすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、より有効で安全な選択法・使用法の提案につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2011年3月～2016年10月までに東邦大学医療センター大橋病院循環器内科において、直接経口抗凝固薬(プラザキサ、イグザレルト、リクシアナ、エリキュース)を服用している患者さん(約700例)を対象として、診療録(カルテ)から抽出した臨床データを解析します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。診療情報等の利用を拒否することによる不利益は一切生じません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 薬剤部

職位・氏名 薄井 勇斗

電話 03-3468-1251 内線 3010